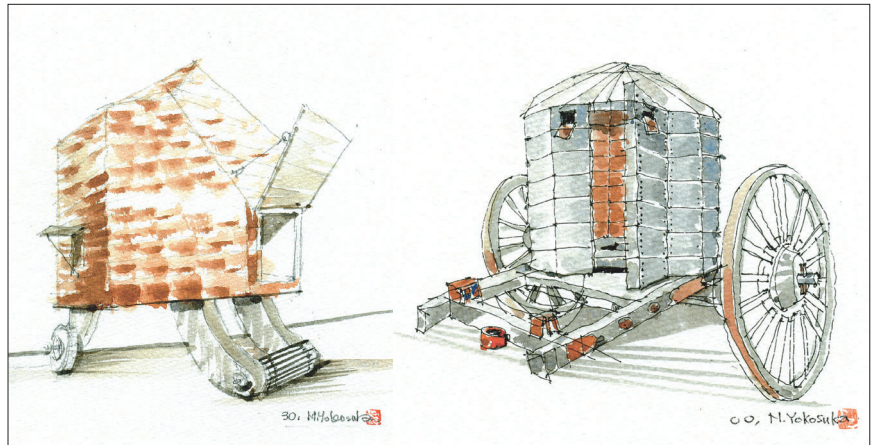




(2018-19年度 国際ロータリー・テーマ)



インスピレーションになろう



「新旧安神車」(水戸市)

高校生と学ぶ寄付の意義

吉田 豊 (中央銀行管理職)

先日、金融広報活動の一環として、県立取手第一高等学校の「金融教育公開授業」を参観した。3年生の世界史の授業であった。世界史といえば、年号と史実を整理した先生の板書をノートに書き写していくイメージしか思い浮かばなかったが、どうやって金融教育を取り入れるのだろうか。

その日のテーマは、「今、蘇るメセナ」。舞台は古代ローマ時代。先生の解説によれば、ローマ皇帝アウグストゥスに仕えた高官「マエケナス」は、文化の発展に寄与すべく、若い詩人や芸術家への寄付を通じて手厚く庇護した。企業が社会貢献の一環として行う芸術文化支援活動を「メセナ」というが、それはマエケナスの名に由来しているという。

古代ローマでは、道路や橋などのインフラ整備の多くを富裕層からの寄付により賄っていた。当時の街道や橋梁に人名がついているのは、そのため。マエケナスは遺産をすべてローマに寄付し、亡きあとも文化芸術の庇護

を託したという。さすが、後世に名を残す人は、寄付のスケールも違う。

公開授業は、県内で子どもへの支援活動をしている3つの団体が紹介され、今10万円あるとして(実際に模擬銀行券を配り)、どの団体にいくら寄付をすべきか、グループに分かれての討議へと展開する。寄付という行動を起こすことにより、どのような課題の解決に結び付くと考えるか、各グループの討議結果の発表が続く。先生が「寄付という行動は、課題を解決する社会参加の大切な手段である」とまとめて、50分の授業は終わった。

史実を題材に、寄付の模擬行動を通じて金融教育を実践した先生の創意工夫に、まず感心した。また、寄付の社会的意義を学ぶ高校生たちを前にして、ロータリークラブの例会で委員長からの寄付の呼びかけがあると、懐具合が気になって首をすくめる自分に、深く恥じ入った。

No. 22 2018・12・4

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 牧 厚志 ■幹事 二川 泰久

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



水戸藩9代藩主徳川斉昭といえば、偕楽園や弘道館を開設し、幕府に先駆け天保の改革を行い、幕府の海防参与として攘夷の指導的役割を担うなど、藩政、国政で活躍した幕末を代表する政治家の

一人として知られています。事実、その通りで、水戸では常磐神社に光圀とともに神として祀られています。しかし、没後、烈公と称されたように激情、直情型の性格で、藩内外で好き嫌いがこれほど分かれた藩主はいないでしょう。水戸市史編さんのリーダーだった東大名誉教授の伊東多三郎先生が、以前、書かれた名著「国学者の道」のなかで「人物の伝記は、その時代の世俗の評価に惑わされず、常に厳しい論理感をもって人物を評価し、正しい人間像を明示しなければならない。これが歴史学のヒューマニズムだ」と指摘されています。私も、そのように思います。そのような立場から、きょうは斉昭の藩主にふさわしくない行為があったことが、最近の研究で明らかになったことを紹介させていただきます。

斉昭は、天保の改革を成功させ幕府から表彰された一年後の弘化元年、再び幕府から天保の改革の不備を指摘され、隠居・謹慎の処分を受けました。この時、斉昭を支えてきた改革派の藤田東湖らも同時に失脚しました。その中で、保守派の家老結城寅寿だけ処罰されませんでした。斉昭は、結城が幕府と結託して自分たちを失脚させたと考えました。また、斉昭は改革派を重用するなかで保守派の結城の能力を評価し、抜擢してきただけに、裏切られた思いが強く、許せなかったのではないかと思います。藩主としてはありえない奇策を行うこととなります。それは、自らが豪商になりすまし、配下を番頭に仕立て、結城の信頼する部下庄兵衛に近づかせ、甘言をかけて結城に謀反の考えがあることをつきとめ、庄兵衛にそれらを血判状に書かせ、揺るがぬ証拠としたのです。

さらに、結城にばれ、庄兵衛が殺されることを恐れ、旧知の間の宇和島藩主伊達宗城に、庄兵衛を匿ってくれるよう依頼したのです。了承されると、斉昭は、信頼できる藩士菊池為三郎を警護役につけ、宇和島に逃がしました。二人は、しばらく宇和島に匿われ、まず菊池が江戸に戻り、結城が処刑されると庄兵衛も水戸家の京都屋敷の門番に採用しました。

以上の動きが、斉昭が伊達家に送った書状や菊池に宛てた密書から判明しています。9月に宇和島に行き、調べてきましたが、急峻な山と海に囲まれた小さな城下町で、隠れるには都合の良い場所だったのでしょう。匿われた重役の屋敷跡や、菊池が、やはり逃亡中の高野長英と過ごした医者屋敷跡などを見て、感慨深いものがありました。市立伊達博物館には斉昭が宗城に匿ってくれたお礼に贈った鎧兜も展示されていました。

結城が陰謀を巡らしていたのも事実のように、斉昭、結城とも陰謀を凶ったわけですが、先ほど伊東先生の指摘されたように、倫理観をもって人物像を明示するのが歴史家の役割ならば、藩主たる斉昭の行為は、隠すことなく後世に伝えなければならないと考えています。

<牧会長からの質問>

江戸時代はまだ仇討が許されていました。現代のような国家警察はなく、やられたら本人か家族がやり返す以外はなかった時代です。奉公所といっても背後に幕府が関わっているのかもしれない大きな事件を調べることは、ほとんど期待できなかったのではないのでしょうか。

しかも単なる憶測だけで事を起していない。庄兵衛を自白させるという真偽を確かめる努力もしています。また庄兵衛を匿ったといっても、いわば証人を安全な所に避難させたわけで、現代の司法取引にも似て必要なことではなかったかと思います。そして家老結城寅寿の陰謀も事実だったということなので、斉昭にとっては降りかかった火の粉を自ら振り払わねばならなかったのだと思います。

斉昭が藩主になる時も藩内では対立があった

ようです。そして斉昭の謹慎、幕府の海防参与到起用、將軍家定の後継問題、日米修好通称条約の調印、安政の大獄、桜田門外の変と幕府と水戸藩との政争は次第に激化の一途をたどり、明治維新へとつながります。時代の大きなうねりを斉昭が予測していたか、惑いは翻弄されたかわかりませんが、もし斉昭が謹慎されたままで何の抗議もしなかったら、時代の歩みはもっと遅くなっていたのではないかと考えます。

＜市川教授の見解＞

斉昭はやむにやまれぬ中で行った行為であったと思います。もしこのようなことをやらなければ謹慎の中で終わった可能性もあります。この時の幕府の老中は阿部正弘でした。斉昭は阿部正弘とのやり取りを新伊勢物語の中に書き残しています。その中で幕府は海防の件に関しては特に斉昭の意見を重要視して海防参与到復帰させています。その中で商人なりすましの様な事件を起こしたのには寅寿が陰謀を企てていたことを堂々と表に出せない政治状況であったのだと思います。当時の水戸藩は改革派の藤田派と保守派の結城派に二分されていま

した。藩内がぎくしゃくしていた中で斉昭は藩主になり、藩内のバランスを考えてそれぞれの良いところを登用して藩の改革を行っていました。その中で保守派が幕府と結託してこのような事態になったのも間違いないと思います。そこで斉昭は禁じ手である商人なりすましの様な行為をしたと考えられます。本来であれば自分自身で行うのではなく家来にさせるのが一般的である中で、斉昭は性格上、後に烈公と言われるようになったようにとても激しい性格で行動もとても素早い人でしたのでこのような行為になったのだと思います。現在でこそ司法取引が認められていますが江戸時代にはとても認められることではなかったことです。しかし、この後、藩政にも復帰しましたし、幕政にも復帰をしました。残念ながら桜田門外の変の後、病気で亡くなりましたが、斉昭は激動の時代を駆け抜けてその後の日本の新しい時代を造る「魁」となったのも事実であると思います。皆さんが水戸藩主斉昭を誇りをもって語ることは良いと思いますがこのような事件もあったということを知っていることも必要なことと思います。

例会報告

12月第1例会

司会 神尾(友)委員

◇ クリスマスソング



リリーベール小学校 1年生 82名

◇ ゲスト紹介

常磐短期大学特任教授 市村 眞一氏
米山奨学生 ナビラ ビンティ アブドルハリムさん

◇ 会長の時間

牧会長

本日の卓話は常磐短期大学特任教授の市村眞一氏に話していただくことになっております。市村教授は学習院大学を卒業後茨城新聞社に入社。茨城プレスセンター代表取締役社長兼茨城新聞社常務、相談役などを務められました。仕事の傍ら多くの著書を執筆しており小説「大志」では平成28年の茨城文学賞を受賞されております。また歴史研究家としても有名で、諸正党の研究では第一人者と言われております。実は教授と私は茨城大学附属小・中学校の同期で、よく一緒に遊んだ仲です。

今年は明治維新からちょうど150年になります。そこで水戸藩にまつわる話をお願いしたところ、このようなテーマで話したいとのことでした。最近の研究で明らかになり、既に県立歴

史館や茨城新聞で掲載されたホットな話題とのことです。ただ水戸はご当地でもありますので、言い分もあるのではないかと思います。

本日は市村教授よろしくお願い致します。

◇ 出席報告

益子副委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
112名	70名	42名	67.96%

前週訂正出席率 77.14%

前々週訂正出席率 76.24%

◇ 会員メイクアップ

11/28 水戸西RC 中山 義雄

◇ にこにこBOX

谷川委員長

大久保会員……本日私どもリリーベール小学校の子供達が歌を歌わせて戴きましてありがとうございます。

内藤会員……リリーベール小学校の皆さん、今年もありがとうございます。

川名会員……良い事がありました。

北島会員……父の葬儀に際し、ご会葬並びにご厚志を賜りありがとうございます。

遠山会員……メンバーに恵まれ、ゴルフで優勝させて頂きました。

石島会員……誕生祝有難うございます。

益子会員……誕生日プレゼントありがとうございます。祝日の誕生日は今年が最後になりそうです。(12/23)。

櫻場会員……プレゼントありがとうございます。

佐藤会員・吉原会員……誕生祝ありがとうございます。

青沼会員……今週誕生日を迎えます。お祝いありがとうございます。

鈴木(真)会員・浪川会員……妻の誕生祝いありがとうございます。

宮沢会員……かみさんの誕生日祝いありがとうございます。

本日の合計	14件	80,000円
-------	-----	---------

◇ 財団BOX

小泉不二夫会員……財団の友献金

(第10回) \$ 100 11,200円
(累計 \$ 2,000)

この計	1件	11,200円
-----	----	---------

◇ 米山BOX

佐藤 規博会員……米山功労者献金

(第2回) 10,000円
(累計 120,000円)

齊藤 佳昭会員……準米山功労者献金

(第8回) 10,000円
(累計 80,000円)

浪川 洋一会員……準米山功労者献金

(第2回) 10,000円
(累計 20,000円)

吉田 豊会員……準米山功労者献金

(第10回) 10,000円
(累計 10,000円)

この計	4件	40,000円
-----	----	---------

◇ 定例理事会報告

日時：12月4日(火) 11:30~12:00

場所：常陽銀行本店8階大会議室

- 議題
- 1) 退会会員について
 - 2) 出席規定免除者について
 - 3) 新年家族会(予算)について
 - 4) メイクアップについて
 - 5) 12月・1月例会プログラムについて
 - 6) 会計報告



週報担当 片岡 宗巖 委員長

例会予告

12月18日(火)
卓話「臓器移植の現状と課題」
茨城県臓器移植コーディネーター
小川 直子氏

12月25日(火)
— 定款第8条第1節により休会 —

2019年
1月1日(火)
— 元日により休会 —